

流通合理化事業活動の概要



事業者：奈良県（奈良県中央卸売市場）

計画概要

卸売市場の再整備により、場内に分散している関係施設の集約化、大屋根積込所の整備、DX化の推進等により物流動線や荷役作業の効率化を図るとともに、コールドチェーンに対応した閉鎖型施設とすることで、品質・衛生管理の高度化を図る。

目標

主要取扱物品の物流に関わる施設を集約し、効率的な物流動線を整備することで、令和15年度末までに仲卸事業者の単位当たりの物品運搬時間を53.9%削減する。

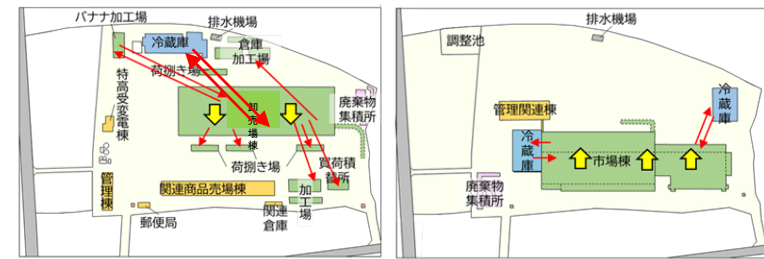
食料システムへの寄与

物流動線の効率化や荷卸し作業の効率化を図ることにより、物流コストが低減され、農林漁業及び食品産業の成長発展に寄与する。

また、コールドチェーン対応の施設により品質・衛生管理が高度化されることは、付加価値向上や廃棄率低下につながり産地や場内事業者の利益増進に寄与し、一般消費者に対しては安全な生鮮食料品を安定供給することに寄与する。

計画のイメージ

施設を集約配置し、物流動線と作業を効率化



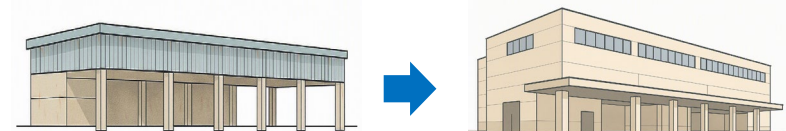
→ 荷の動線（市場棟外）

→ 荷の動線（市場棟内）

現状（施設分散）

整備後（施設集約）

閉鎖型施設化により品質・温度管理を高度化



現状（開放型施設）

整備後（閉鎖型施設）

（2026年6月29日認定）